

環境総量低減対策 スケジュール

分野名		活動	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定												6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月以降	備 考
				16	23	30	1	7	14	21	28	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
環境線量低減対策	放射線量低減	敷地内総量低減 ・段階的な総量低減	（実 績） ○総量率測定 ・構内全域の状況把握サーベイ ・構内全域の走行サーベイ[1回／3ヶ月] ⇒6月21日（第1 四半期分） ○総量低減対策 ・建屋エリア（3号機海側等） （建物除去・路盤舗装 等） （予 定） ○総量率測定 ・構内全域の状況把握サーベイ ⇒4月～8月（北側造成エリア） ⇒8月～9月（Gタンクエリア） ・構内全域の走行サーベイ[1回／3ヶ月] ⇒8月（第2 四半期分）、11月（第3 四半期分） 	検討・設計																																		
				■総量率測定 構内全域の状況把握サーベイ（30mメッシュサーベイ）																																2024年4月1日～2025年3月31日実施予定		
				現場作業 構内全域の走行サーベイ																																6月、8月、11月、2月実施予定		
	海洋汚染拡大防止 ・モニタリング ・排水路整備	（実 績） 【護岸エリア地下水対策】 港湾内外海水モニタリング 地下水モニタリング 【排水路対策】 排水路モニタリング K排水路上流部調査（浄化材の効果の確認） K排水路上流部調査（枝管サンプリング（電期）） 排水路等土砂回収・排水路浄化材維持管理 【深浅測量】 深浅測量2023年度 （予 定） 【護岸エリア地下水対策】 港湾内外海水モニタリング 地下水モニタリング 【排水路対策】 排水路モニタリング K排水路上流部調査（浄化材の効果の確認） K排水路上流部調査（枝管サンプリング（電期）） 排水路等土砂回収・排水路浄化材維持管理 【深浅測量】 深浅測量2024年度	検討・設計																																			
			■護岸エリア地下水対策 港湾内外海水モニタリング																																（継続実施）			
			地下水モニタリング																																（継続実施）			
			■排水路対策 排水路モニタリング																																（継続実施）			
			K排水路上流部調査（浄化材の効果の確認）																																（継続実施）			
			K排水路上流部調査（枝管サンプリング）																																（継続実施）			
			排水路等土砂回収・排水路浄化材維持管理																																（継続実施）			
現場作業 ■深浅測量																																7／1～ 準備作業 8月以降 現場作業予定						
評価	環境影響評価 ・モニタリング ・傾向把握、効果評価		（実 績） ・1～4号機原子炉建屋上部ダスト濃度測定、放出量評価 ・降下物測定（月1回） ・発電所周辺、沿岸海域モニタリング（毎日～1回／月） ・20km圏内 魚介類モニタリング（1回／月 11点） ・茨城県沖における海水採取（毎月） ・宮城県沖における海水採取（毎月） （予 定） ・1～4号機原子炉建屋上部ダスト濃度測定、放出量評価 ・降下物測定（1回／月） ・発電所周辺、沿岸海域モニタリング（毎日～1回／月） ・20km圏内 魚介類モニタリング（1回／月 11点） ・茨城県沖における海水採取（毎月） ・宮城県沖における海水採取（毎月）	検討・設計																															（継続運用）			
				1,2,3,4u放出量評価																																		
				1u,3u,2u																																（継続実施）		
				4u																																（継続実施）		
評価	現場作業			降下物測定																															（継続実施）			
				海水・海底土測定（発電所周辺、茨城県沖、宮城県沖）																																（継続実施）		
				20km圏内 魚介類モニタリング																																（継続実施）		
				20km圏内 魚介類モニタリング																																（継続実施）		

2022年4月 多核種除去設備等処理水放出に係る
海域モニタリング強化開始。